

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	看護師等養成所運営事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和45年度～		担当課室	看護課		課長：岩澤和子	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-1 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成22年4月22日厚生労働省発医政0422第7号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」 ・平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	看護職員の養成力の確保を図るため、1. 看護師等養成所に対する運営費、2. 看護師養成所の修業年限延長促進に必要な経費、3. 看護師養成所2年課程(通信制)開設に必要な経費、4. 助産師養成所の開校に必要な経費、5. 助産師養成所における演習及び実習体制の充実に必要な経費、6. 看護師等養成所の教員に対する教員養成講習会への受講促進経費及び7. 看護師等養成所の新任教員の研修経費に対する補助を行うものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	看護職員確保の一つである「養成力の確保」として、看護師等養成所の教育内容の充実を図り、看護教育の魅力を高め、養成所の運営の適正化を図るため、養成所の運営を行うものである。 補助先：都道府県 補助率：1/2(国1/2、都道府県1/2)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	4,937	4,577	4,512	4,511	4,553
		補正予算					
		繰越し等					
	計	4,937	4,577	4,512	4,511	4,553	
	執行額	4,661	4,567	4,501			
執行率(%)	94.4%	99.8%	99.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	看護師国家試験合格者数	成果実績		49,688	48,400	50,232	-
		達成度	%	91.8	90.1	88.8	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助養成所数	活動実績		639	627	620	-
		(当初見込み)		(640)	(643)	(666)	(620)
単位当たりコスト	7,258,416(円/1校当たり)		算出根拠	1校当たりの補助額の平均を算出			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	看護師等養成所運営費等	4,478	4514	看護師3年課程(2年コース)導入促進に対する支援のメニューを追加したことによる増額			
	助産師学生実践能力向上事業経費	16	16				
	看護教員養成講習会参加促進事業経費	9	9				
	新任看護教員研修事業経費	5	5				
	旅費等	2	9				
	計	4,511	4553				

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国民のニーズがある看護職員の確保につながる当事業については重要と考え、国費を投入する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	看護師確保のための施策の実施に当たっては「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっている。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	看護職員確保のためにも看護師養成は優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業者は補助条件に該当する経営基盤の強化が必要なものとしている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	養成所の開設者が運営していくことが難しい場合のみに交付対象としており、収支差が赤字の部分に対して交付しているので妥当といえる。
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	収支差補助という面から単純なコスト削減は難しいが、コスト削減の努力を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助事業の実施に当たっては都道府県が自前で先行適正に実施している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は真に必要なものだけに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	看護師等の国家試験の合格者数は5万人弱を推移しており、安定的な人材の確保に貢献している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みどおりの活動実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
	-	-	-
点検結果	補助を受けている養成所の割合は、60%以上で横ばいで推移している。本事業により、看護師等養成所等の経営基盤の強化への支援、学生の授業料減免等による経済的負担の軽減が図られていることから、看護学生数は年々増加し、国家試験合格者も増加している。今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていききたい。		
	外部有識者の所見		
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	看護師等養成所運営事業については、看護職員の養成力の確保を図るための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号:B5-2 社会保障:医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ):国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年	79	平成23年	0066
		平成24年	046

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
4,501百万円

〔 養成所の運営事業を補助 〕

【補助】 ※補助率1/2

A.47都道府県
4,500百万円
(補助額1位:大阪府430百万円)

〔 養成所の運営事業を補助 〕



【補助】

B.大阪府の看護師等養成所(50施設)
430百万円
(補助額1位:大阪府医師会看護専門学校
(3年課程全日制)20百万円)

〔 養成所の運営事業を実施 〕

C.事務費
1百万円

〔 学生実習国民向けPR経費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大阪府			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
補助金	看護師等養成所に対する運営費に係る補助	430			
計		430	計		0
B.大阪府医師会看護専門学校			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	給与費(教員、事務職員)	14			
謝金	実習施設に対する謝金	2			
その他	消耗品費、印刷製本費等	4			
計		20	計		0
C.(株)朝日エル			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
庁費	看護学生実習の国民向けPRポスターデザイン・印刷	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	養成所の運営事業を実施	430		
2	福岡県	養成所の運営事業を実施	316		
3	東京都	養成所の運営事業を実施	295		
4	北海道	養成所の運営事業を実施	233		
5	埼玉県	養成所の運営事業を実施	233		
6	神奈川県	養成所の運営事業を実施	164		
7	千葉県	養成所の運営事業を実施	152		
8	愛知県	養成所の運営事業を実施	140		
9	茨城県	養成所の運営事業を実施	135		
10	鹿児島県	養成所の運営事業を実施	132		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府医師会看護専門学校	養成所の運営事業を実施	20		
2	近畿大学附属看護専門学校	養成所の運営事業を実施	16		
3	関西看護専門学校	養成所の運営事業を実施	14		
4	大阪保健福祉専門学校	養成所の運営事業を実施	13		
5	香里ヶ丘看護専門学校	養成所の運営事業を実施	12		
6	関西医科大学付属看護専門学校	養成所の運営事業を実施	12		
7	ベルランド看護助産専門学校	養成所の運営事業を実施	12		
8	大阪警察病院看護専門学校	養成所の運営事業を実施	12		
9	大阪府病院協会看護専門学校	養成所の運営事業を実施	12		
10	大阪保健福祉専門学校	養成所の運営事業を実施	11		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)朝日エル	看護学生実習の国民向けPRポスターデザイン・印刷費用	1	随意契約	
2	協新流通デベロッパ(株)	看護学生実習の国民向けPRポスター梱包・発送費用	0	随意契約	